

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

校長 加藤 良夫

ようこそ大谷中学校のホームページへお越しくださいました。

本校は、昭和57年4月1日、大宮市立七里中学校より、分離し、大宮市立大谷中学校として、開校しました。今年で44年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

令和7年度、126名の新入生を迎え、生徒数388名、特別支援学級の3学級を含む13学級の規模の学校です。

未来を担う子どもたちが、人生100年時代を豊かに生き抜くためには、多くの他者と協働して、知識・技能を習得し、思考力や判断力、表現力を身に付け、自らの学びを人生や社会に生かそうとする力が不可欠です。

本校の学校教育目標である、「自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ」の具現化のため、「寄り添い 導く 見届ける」の方針のもと、生徒に寄り添い、信頼関係に基づく指導を基本として、生徒の自己実現に向けた支援を行います。

保護者、地域の皆様と教職員が力を合わせ、通いたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校となり、「大谷中でよかった」と思える学校にしていきます。引き続き、それぞれのお立場からのお力添えをお願いいたします。

校章の由来

「まわりは、大宮、大谷の「大」
葉はつげ（大宮の市樹）二重丸と中で谷中（この形は七里中と兄弟校の意）
白は純粹、純潔な心を、緑は豊かな自然と学問を
青は美しい空、健康な身体、果しない未来を意味します